

ディーゼルエンジンの排ガス低減技術で開発 独自の黒煙除去装置DFPを新市場へ展開

1996年創業の排ガス低減装置の設計・開発・製造・販売。創業当初よりディーゼルエンジンの排ガス(黒煙やPM等)を削減する黒煙除去装置(DPF)が主力製品。

2003年に首都圏の「ディーゼル車規制」が開始され、消防車、警察車両、公営バス等約3000台以上に採用。その後新たな市場開拓を行い、レンタル建機向け市場等でトップシェアを誇り、更に非常用発電機の黒煙対策にも対応。現在は海外の大気汚染課題の解決を目指しモンゴル・台湾での展開を開始。

●所在地 埼玉県春日部市南栄町13-17

●電話/FAX 048-797-7197/048-797-7198

●URL <http://www.comotec.co.jp/>

●代表者 代表取締役 小森正憲

●設立 1996年

●資本金 1,000万円

●従業員数 8人



黒煙除去率99.9%ディーゼルエンジン用黒煙除去装置

同社のカセット式黒煙除去装置(製品名モコビーCT)は、ディーゼルエンジンから排出される黒煙の99.9%、PM2.5の90%以上を除去可能な日本で唯一の製品。炭化珪素製セラミックを使用したフィルタは、シンプルな構造で目詰まりや故障の心配がなく半永久的に使用でき、更に廃車する車両から取り外してリサイクルも可能。またあらゆる条件(高硫黄軽油、黒煙発生量過大等)、あらゆる機種(車両、建設機械、発電機等)にも使用でき汎用性が高いことから黒煙対策市場で独占的な地位を築いている。



カセット式黒煙除去装置「モコビー」

ディーゼル車両に加え建設機械や発電機など新市場を開拓

建設現場で稼働する建設機械の黒煙対策として大手建機レンタル会社と組み、簡単に取付け可能な専用DPF市場を開拓。また消防法で義務付けられている非常用発電機始動時の黒煙対策用に非常用発電機メーカーと組み専用DPFを販売。これにより、建機レンタル会社、発電機メーカーが持つ幅広い顧客へのアプローチを実現した。同社製品の特徴を最大限に活かしたもので、他社製品では実現できないモデルのため、現在は2つの新市場でのシェアを独占している。



フォークリフトに直ぐに取り付け効果発揮

大気汚染問題を抱えるモンゴル、台湾など海外への展開

モンゴル国ウランバートル市の大気汚染改善のためJICA中小企業海外展開支援事業「ディーゼル路線バスのDPFによる黒煙低減計画に関する普及・実証事業(契約期間:2017年11月~2019年9月)」でウランバートル市の路線バス24台にDPFを搭載し実証事業を実施中。同国省庁や同市から本製品への高い期待が寄せられ先方で予算化検討中。また台湾企業と「販売代理店契約」「技術移転契約」を締結。現在台湾環境省へ申請書類を準備中で、認可が下り次第DPFの輸出を開始予定。



ウランバートル市でバス24台が走行開始